

海外進出ステップアッププログラム「セミナーC実施レポート」

10月29日に第3回目となるセミナー「海外で求められる作品の紹介方法とは」をオンラインにて開催いたしました。海外展開の基礎であるピッチとバイブルについて、一般的な構成や必要な要素の説明から、具体的な事例をもとにした講義は、海外展開の初心者だけでなく、ピッチやバイブルの作成に取り組む方にとっても大変有意義な内容でした。

セミナーC「海外で求められる作品の紹介方法とは」 講演内容ご紹介

ガイダ合同会社 プロデューサー / カルチャーコネクト代表 風早 完次氏
「ピッチ・バイブル作りの基礎知識」

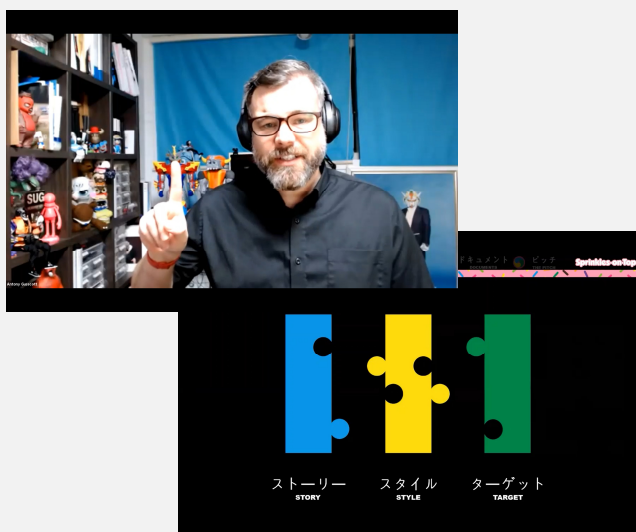
- 海外でのアニメーションビジネスの中で、自身の作品を売り込む基礎となるピッチとバイブルについて、ピッチとは何か、バイブルとは何かといった点を具体的に説明いただきました。
- また、ピッチとバイブルには何が必要なのか、実際の海外作品のバイブルを紹介いただきながら、キービジュアルやタグライン、ターゲット、ジャンル、ログライン、キャラクター等の各要素についてひとつずつポイントを解説いただきました。特に、ピッチは相手がいることを意識し、相手のニーズや関心度合等を読み取りながら、作品に興味を持ってもらうことが大事だという点もまとめていただきました。



OVERVIEW/OUTLINE SAMPLE	• Target Audience: Girl 6-8
	• Genre: Fantasy, Adventure, Comedy
	• Animation Technology: 3D CGI
	• Format 26 episodes x 11minutes (1st season)
	• Finance Status:
	• Budget : US\$1.8 million - 60% financed.

風早氏によるセミナーの様子

Creative Director, Sprinkles on Top Antony Gusscott氏
「ピッチ・バイブルの考え方〜ドキュメントとピッチ〜」



Antony氏によるセミナーの様子

- セミナー後半では、Antony Gusscott氏に、1つの作品を元に、シリーズのコンセプト、ドキュメント、ピッチの3要素をどのように構築し相手に伝えていくのか、非常に具体的にプロセスごとの伝え方を説明いただきました。
- 特にピッチバイブルでは、話す時間、絞り込むべき情報、相手からの質問への対応、ビジュアルの大事さ等、現場目線のポイントをたくさん解説いただきました。
- まとめでは、自分が相手に何を求めているのか、何故相手を必要としているのか、どのような価値をもたらすのか、次の手は何か等、作品の紹介だけではなく、アニメーションビジネスの動きを見据えながら自身の作品や自分自身を相手の記憶にとどめることが大事であることなどを解説いただきました。